

pH 調整 クエン酸溶液

クエン酸50% 自然物よりなる潤滑剤0.0025%

- 土壌および水のpH調整剤
- 土壌のpH低下剤
- 天然のキレート剤
- タンクミックスの緩衝溶液

(米国メーカー保証値)

クエン酸(食品グレード) 50%
天然湿潤剤(ユッカ・シジゲラ) 0.0025%

pH 1.5

1リットル当りの製品重量 1kg

容量 10リットル×1本

(製品説明)

pH調整剤は、pHをもっと低く酸性にする必要のある水や土壌のために作られました。クエン酸は有機物を基にした材料で、土壌のアルカリ状態を環境を汚すことなく自然に低下させるものです。

<土壌調整剤>

1) 芝への応用

土壌によっては植物が吸収できない酸化された形の微量栄養成分が高い割合で含まれていることがあります。

クエン酸溶液を与えることにより、これらの微量栄養成分がキレート化され、芝草がもっと吸収される状態になります。

このpH調整液は、硫酸や硫酸アンモニアの代わりとしても使用できます。

多くの石灰質土壌は非常に高い pH 7以上を有し、芝草のメンテナンスをむずかしくしています。これはまた多くの微量栄養素とからんで、芝草の白化現象をもたらします。

USGA規格の砂やトップドレッシングは、普通高い pHを有し、pH 6~6.5の適正範囲まで下げる必要があります。毎月㎡当り 0.7~2ccの割合で使用してください。

2) 樹木および鑑賞植物

多くの植物は、酸性の土壌 pH 5~6.5の範囲を好みます。

土壌の pHは高いカルシウムのレベルのため、しばしば pH 7を超えます。

pH調整剤を根元に注入したり、地面に撒いたりすると植物にはまったく害をおよぼさず、ゆっくりとおだやかに土壌の pHを下げるすることができます。

㎡当り 0.7~2cc、または1リットルを400リットルの水で薄めて使ってください。

<水のpH調整剤>

・多くの水源は非常に高いpHレベルにあり、この水を続けて供給していると、土壌のpHが上がる傾向にあります。クエン酸溶液を加えれば、水のpHは下がります。

こうすれば土壌のpHの上がる傾向は、抑えられます。クエン酸をゆっくりタンクに加え、希望のpHになるまでpHメーターやリトマス試験紙で、しっかりとチェックします。

もし、タンクの水をその日に使わない場合は、使う日に再びpHをチェックし、必要なら更に調整します。

<温室の土壌ミックス>

pH調整剤は多くの土壌や土壌でない植物保持剤のpHを低下させるのに理想的な製品です。

<タンクミックス緩衝溶液>

多くの除草剤や殺菌剤は、最良の効果を発揮するためには、酸性のタンクミックスが必要です。

クエン酸をゆっくりとタンクミックスに加え希望のpHになるまでpHメーターやリトマス試験紙でチェックして下さい。

・このpH調整液を用いれば酸性、アルカリ性の製品との混合が可能です。

(希釈・混合方法)

・必要量の水をタンクにあらかじめ入れ、計量されたpH調整を少しずつ加え、攪拌しながらpHを確認し、目的のところにしてください。
その後他の肥料や、薬剤を加えてください。

・pH調整剤は酸性です。
pH調整剤は他の栄養剤や薬剤と混合するまえに、必ず水で薄めて下さい。

(取り扱い方法)

・子供の手の届く場所に置かないでください。

(別紙、㎡当り散布量参照)